

大平町・岩舟町・藤岡町合併協議会  
会 議 録

第 8 回

平成16年2月27日

大平町・岩舟町・藤岡町合併協議会

## 第 8 回大平町・岩舟町・藤岡町合併協議会会議録

平成 16 年 2 月 27 日、第 8 回大平町・岩舟町・藤岡町合併協議会が岩舟町文化会館（コスモスホール）において開かれた。

1. 開催日時 平成 16 年 2 月 27 日（金）  
午後 2 時 00 分から 4 時 10 分まで
2. 開催場所 岩舟町文化会館（コスモスホール） 小ホール
3. 出席した委員  
鈴 木 俊 美                      栃 木                      實                      亀 田 仲 司  
熊 倉 武 夫                      石 塚 英 彦                      田 口 東 一  
羽 金 政 光                      高 岩 義 祐                      小 林                      長  
戸 谷 勝 次                      山 中 秀 郎                      高 際 一 男  
鈴 木 邦 夫                      松 本 喜 重                      天 海 英 夫  
渡 辺 仁 一                      佐 山                      晃                      中 田 堅 一  
永 島 源 作                      町 田                      裕                      田 村 孝 子  
三 柴 一 男                      中 山                      育                      松 本 房 子  
小 幡 英 夫                      片 柳                      登                      小 林 為 三 男  
熊 倉 幸 夫                      佐 山 嘉 市                      島 田 家 得 子  
島 田 富 雄                      阿 部                      博                      田 中 久 巳  
葛 生 明 雄                      久 留 生 道 子                      小 倉 元 江
4. 欠席した委員  
田 村 澄 夫
5. 関係者の出席  
総務専門部会職員                      企画専門部会職員                      産業経済専門部会職員
6. 事務局の出席  
全職員
7. 議事  
議決事項  
議案第 1 号 平成 15 年度大平町・岩舟町・藤岡町合併協議会補正予算(第 2 号)について  
報告事項  
報告第 1 号 新市の事務所の位置選定検討委員会結果報告について

会議内容

司会（事務局次長）	<p>本日はお忙しい中、大平町・岩舟町・藤岡町合併協議会にご出席頂き、誠にありがとうございます。定刻より少し早いですが、お揃いのようなので、これより第8回会議を開催します。</p> <p>開会に当たりご報告いたします。本日の会議には委員37名中36名のご出席を頂いており、規約で決めました条件を満たしておりますことをご報告申し上げます。</p> <p>それでは、早速会議に入らせて頂きます。会議に先立ちまして、鈴木会長よりご挨拶をお願いいたします。</p>
鈴木会長	<p>委員の皆様、傍聴においでの皆様、大変ご苦勞様でございます。本日は第8回合併協議会でございます。毎回申し上げるまでもなく、この合併協議会は重要です。とりわけ本日の協議会は、皆様も新聞報道等で認識されていることとは思いますが、これまでになく極めて重要な会議になると思われます。我々正副会長とも、認識を新たにしておきまして本日臨んでおります。つきましては今後の協議の中で、ぜひ皆様が思っておられることを忌憚なくご発言頂きながら進めてまいりたいと考えておりますので、よろしくご報告申し上げます、冒頭のご挨拶とさせていただきます。</p>
司会（事務局次長）	<p>続きまして、本日お配りいたしました資料の確認をさせていただきます。</p> <p>合併協議会次第、合併協議会議案書、説明資料の3つをご用意いたしました。それでは、次第に従いまして、3.新市名称決定に伴う「アイデア賞」当選者の抽選について、事務局長よりご説明いたします。</p>
事務局長	<p>事務局長の河田です。</p> <p>3.新市名称決定に伴う「アイデア賞」当選者の抽選についてです。</p> <p>次第の3ページをお開きください。</p> <p>「新市の名称」については、第7回合併協議会(平成16年1月21日開催)において「みかも市」と決定したことから、新市の名称を募集するにあたり定めた「新市名称募集要領」に基づき「アイデア賞」の当選者を決定する必要があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 対象者数(「みかも市」応募者数) 193名</li> <li>2. アイデア賞当選者数 10名</li> <li>3. 賞品 「全国共通商品券 20,000円」</li> <li>4. 選定方法 応募はがきの抽選による</li> </ol> <p>メール等で受けたものについては、再度応募はがき書き改め抽選するという方法をとりました。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>5. 抽選者及び抽選回数</li> </ol> <p>抽選者：会長(抽選回数2回)、副会長(各1回)、議会議員の代表者(3町各</p>

<p>委員 事務局長</p>	<p>1名ずつ各1回)、学識経験者の代表者(3町各1名ずつ各1回)ということになります。</p> <p>6. 当選者の発表及び賞品の贈呈</p> <p>当選者の発表については、協議会だより、3町の広報紙及びホームページ等を通し発表を行う。また、当選者への賞品の贈呈は郵送をもって行う。ここで僭越ではありますが、事務局より提案させていただきます。これから、ご覧のような内容で進めてまいりたいと思いますが、よろしいでしょうか。異議なし。</p> <p>ありがとうございます。それでは早速ですが、5. 抽選者及び抽選回数ということで、議会議員及び学識経験者から代表を各町1名ずつということで、お決め頂きたいと思います。</p> <p>ただ今から抽選に入りますが、こちらから申し上げますので、その時に代表の方に立って頂いて、抽選をお願いします。</p> <p>まず会長から、2通をお願いします。当選者については、その場で町と名前を呼び上げて発表させていただきます。</p> <p>大平町 臼井トシ子様 岩舟町 永島敏正様</p> <p>では栃木町長、お願いします。</p> <p>岩舟町 池田三男様 藤岡町長、お願いします。</p> <p>岩舟町 井上キヨ子様 大平町議会議員代表の方、お願いします。</p> <p>大平町 佐々木聡様 岩舟町議会議員代表の方、お願いします。</p> <p>大平町 山川一二三様 藤岡町議会議員代表の方、お願いします。</p> <p>大平町 須藤良治様 大平町学識経験者代表の方、お願いします。</p> <p>大平町 山田忠様 岩舟町学識経験者代表の方、お願いします。</p> <p>岩舟町 松尾篤様 藤岡町学識経験者代表の方、お願いします。</p> <p>大平町 福地和子様</p> <p>以上、10名の抽選を終わります。なお、本日の当選者につきましては、会議終了までに当選者一覧表を作成し、お手元に配布したいと思います。ご協力ありがとうございました。</p>
--------------------	---

事務局次長	<p>それでは議事に入らせていただきます。進行は規定によりまして、鈴木会長にお願いします。</p>
鈴木会長	<p>規約の定めによりまして、議長の役を務めさせていただきます。早速ですが会議に先立ち、会議録署名人を指名させていただきます。今回は、渡辺仁一委員、佐山嘉市委員、ご両名をお願いいたします。</p> <p>それでは議事に入ります。議案第1号平成15年度大平町・岩舟町・藤岡町合併協議会補正予算(第2号)について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局(総務班長)	<p>議案第1号平成15年度大平町・岩舟町・藤岡町合併協議会補正予算(第2号)について、説明いたします。</p> <p>これにつきましては、合併協議会財務規程に基づき、平成15年度合併協議会補正予算について協議に付するというものです。</p> <p>2ページをお開きください。歳入の総括表です。詳しい内容は後ほど説明いたしますが、補助金のうち国庫補助金が1,500万円ほど減額し、同額の1,500万円を負担金に増額するという内容のものです。</p> <p>3ページをお開きください。歳出の総括表です。会議費のうち1.報酬を88万5,000円増額、事務費のうち14.使用料及び貸借料を36万円増額するというものです。その下の事業推進費のうち11.需用費の印刷製本費を124万5,000円減額するというものです。</p> <p>詳しい内容は次のページです。歳入は負担金のうち1.負担金を1,500万円増額、補助金のうち1.国庫補助金を同額の1,500万円減額となっていて、これは一連のものです。合併協議会を設置し協議を進めていく上で、国から準備補助金が構成市町村1町当たり500万円出ますので、その対象となります。当協議会は3町で構成しますから、当初500万円×3町で1,500万円を国庫補助金として予算計上いたしましたが、この補助金の扱いについては、国から構成町にいったんお金が入り、それを構成町が負担金として支出するという性格のものであることが、今回わかりました。従って、今回国庫補助金を減額し、その分を負担金として増額するという内容です。</p> <p>続きまして、歳出です。報酬関係について、新市の事務所の位置検討委員会の開催回数が当初の想定回数より増えたこともあり、それに関わる委員報酬を増額したものです。</p> <p>5ページです。14.使用料及び貸借料ですが、コピー機プリント料です。資料の増加などでプリント代が増えてきている状況ですので、今回36万円を増額し補正しました。11.需用費の印刷製本費として当初予算を組みましたが、印刷等の実績を鑑みて124万5千円ほど減額したものです。</p> <p>予算につきましては、以上です。</p>

鈴木会長	以上、説明が終わりました。
委員	これより質疑に入ります。ご質問、ご意見がありましたら、お願いします。
鈴木会長	異議なし。
鈴木会長	異議なしの声がありましたので、質疑を打ち切ります。お諮りいたします。
鈴木会長	補正予算について、原案どおりご承認頂くことで異議ございませんか。
鈴木会長	ご異議なしと認め、原案どおり可決いたしました。ありがとうございます。
鈴木会長	続きまして、報告事項となります。報告第1号新市の事務所の位置選定検討
鈴木会長	委員会結果報告について、報告して頂きます。これについては、選定検討委
鈴木会長	員会委員長であります藤岡町議会議長の山中委員長から、ご報告をお願いします。
山中委員長	報告いたします。
山中委員長	議案書の6ページをお開きください。そこでの記載順に則して報告いたしま
山中委員長	す。
山中委員長	1. 検討委員会開催状況
山中委員長	○第5回検討委員会
山中委員長	開催日時 平成16年1月14日(水)午後1:30~4:30
山中委員長	開催場所 大平町健康福祉センター「ゆうゆうプラザ」大会議室
山中委員長	出席委員 18名出席(欠席者 なし)
山中委員長	○第6回検討委員会
山中委員長	開催日時 平成16年1月30日(金)午後5:00~7:00
山中委員長	開催場所 大平町健康福祉センター「ゆうゆうプラザ」大会議室
山中委員長	出席委員 18名出席(欠席者 なし)
山中委員長	○第7回検討委員会
山中委員長	開催日時 平成16年2月3日(火)午後5:00~6:40
山中委員長	開催場所 大平町健康福祉センター「ゆうゆうプラザ」大会議室
山中委員長	出席委員 18名出席(欠席者 なし)
山中委員長	○第8回検討委員会
山中委員長	開催日時 平成16年2月10日(火)午後5:00~5:20
山中委員長	開催場所 大平町健康福祉センター「ゆうゆうプラザ」大会議室
山中委員長	出席委員 17名出席(欠席者 1名)
山中委員長	2. 正副委員長について
山中委員長	去る1月21日に報告したとおりですが、委員長に私、山中、副委員長に大
山中委員長	平町の片柳登氏が互選され選出されました。
山中委員長	3. 会議の公開、非公開について
山中委員長	当委員会の会議を公開とすることに決定しました。
山中委員長	4. 協議内容

(1)第5回検討委員会

事務局より示された『新市の事務所の位置選定検討委員会の審議事項』等の資料について説明を求め、今後の協議方針について確認を行った。なお、確認した内容は次のとおりである。

選定基準について

新市の事務所の位置選定にあたっては、交通条件、公共施設等の配置状況、既存庁舎の老朽化・狭隘性及び合併市の組織体制からみた効率性・機能性を考慮し、新庁舎の建設や事務所の機能のあり方等について総合的に協議する。

検討項目について

ア、合併時の事務所の位置について

- ・事務所の機能のあり方について
- ・本庁、支所、出張所等の配置について

イ、新庁舎について

- ・建設の有無について
- ・建設場所について
- ・建設規模について
- ・建設時期について
- ・事務所の機能のあり方について

ウ、公共施設の配置について

エ、役所への交通アクセスについて(巡回バス等)

オ、財政負担について(費用対効果)

(2)第6回検討委員会

第5回検討委員会において確認した『検討項目』に基づき、合併時の事務所の機能のあり方及び本庁、支所、出張所等の配置、新庁舎建設の有無、新庁舎建設の場所について協議を行った。

(3)第7回検討委員会

第6回検討委員会の検討結果を踏まえ、引き続き新庁舎建設の場所について協議を行った。

(4)第8回検討委員会

第7回検討委員会までの検討結果を踏まえ、引き続き新庁舎建設の場所について協議を行った。

以上のとおり、協議を行った。なお、協議結果については、別紙「新市の事務所の位置選定検討委員会結果報告書」のとおりである。

5. その他

(1)検討委員会について

鈴木会長	<p>検討委員会については、協議の結果、第8回検討委員会をもって終了することとなった。</p> <p>(2)合併協議会への結果報告について 合併協議会への結果報告については、2月27日開催予定の第8回合併協議会において行うこととなった。</p> <p>次に、新市の事務所の位置選定検討委員会結果報告書です。</p> <p>1. 合併時の事務所の位置について</p> <p>(1)事務所の機能のあり方について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本庁方式とするが、当面は総合支所方式とする。</li> </ul> <p>(2)本庁、支所、出張所の配置について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本庁は大平町役場とする。</li> <li>・岩舟町役場及び藤岡町役場は支所とする。</li> <li>・部屋出張所は当面存続する。</li> </ul> <p>2. 新庁舎について</p> <p>(1)建設の有無について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新庁舎については建設する。</li> </ul> <p>(2)建設場所について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新庁舎の建設場所については、『大平町富田地内(大平町役場建設予定地)とする。』及び『新市発足後検討する。』との両論があり、一本化するには至らなかった。</li> </ul> <p>以上のとおり、検討委員会の報告とさせていただきます。 よろしくお願いいたします。</p> <p>以上が、事務所の位置選定検討委員会からの結果報告です。 この検討結果を踏まえ、今後この問題を当協議会でどのように扱うかについてですが、方向性は3つに要約できると考えています。</p> <p>一つは、ただ今の報告を受けて、本全体協議会において協議決定していく方向、二つ目は、今回も新庁舎建設の有無については両論併記ということでしたので、再度検討委員会あるいは別組織を作って審議をしてもらおう方向、三つ目は、佐野市、田沼町、葛生町での合併協議会で採られた方法のようですが、正副会長の預かりという形にして我々3者で調整案を練り、改めて協議会で諮って頂くという方向、以上の3つが考えられます。</p> <p>こうした議論の方向性も踏まえて、質疑を行って頂きます。</p> <p>できれば、ただいまの検討委員会からの検討内容への質問からして頂き、各自の意見はその後にしてもらえれば、議論が整理しやすくなると思います。</p> <p>もう一つ、冒頭の挨拶でも申し上げたように、非常に重要な協議ですので、検討委員以外の方から多くのご意見を頂戴したいと考えますので、この点も</p>
------	--

中田委員	<p>ご理解頂きたいと思います。</p> <p>以上のことを認識して頂き、質疑に入ります。</p> <p>いかがでしょうか。できれば今回まで発言の機会がなかった方から、多くのご質問を頂きたいと思います。</p> <p>議員の方は少しお待ちいただいて、学識経験者の方、ご質問ございませんか。それでは、トップバッターは切りにくいようですので、最初に手が上がりました中田委員から、お願いします。</p>
鈴木会長	<p>合併の建設場所については、再三協議がなされてきたことと思います。3町とも激論があったようですが、大平は富田地内、藤岡・岩舟は国道50号線という話がされたわけですね。その経緯を踏まえて検討委員会の結果報告を見ますと、事務所の機能のあり方については「本庁方式とするが、当面は総合支所方式とする」とあり、新庁舎については建設するが「本庁は大平町役場とする」等とあり、藤岡・岩舟は相当妥協しているように感じます。新庁舎建設場所についてなどは、大平町さんはどの程度妥協して頂けたのでしょうか。そのあたりの小委員会の空気を教えて頂きたいのですが。</p>
羽金委員	<p>検討委員会の審議の中での大平町の対応についてのご質問かと思えます。これを委員の皆さんにお聞きするのは、少し違うかもしれませんが、大平町のどなたかからお答え頂くということによろしいですか。</p> <p>それでは、大平町議会議長の羽金委員から発言を求められていますので、これを許可し報告して頂くこととします。</p>
鈴木会長	<p>中田委員のご質問にお答えいたします。それに先立ち、3町の合併協議会委員の皆様には、大変ご苦労様でございます。</p> <p>今回の平成の合併は、国の財政破綻等からくる中央集権から。</p> <p>恐縮ですが、ご意見等は後に機会を与えます。今回、検討委員会の中における大平町としての意見に従来と変更があったかというご質問ですので、できれば端的にお答え頂けたらと思います。</p>
羽金委員	<p>わかりました。</p> <p>大平町議会としては、大平・岩舟・藤岡の3町が地理的条件として親しみやすいこと、また、先人が築いた文化や風土等が馴染みやすいまちであるということから、合併協議会の立ち上げを議決したわけです。</p> <p>中田委員から、大平町はなぜ富田地内にこだわるのかというお話がありましたが、やはり、合併の根底には財政問題があり、先人が築き上げた社会資本は有効であり宝であると位置付けています。この宝を今後のまちづくりにおいて有効かつ便利に使っていかねばならないということで、主張いたしました。</p> <p>以上です。</p>

鈴木会長	<p>結論として言いますと、大平町の意見としては、第1次検討委員会での主張と変更はなかったという理解でよろしいですね。</p> <p>中田委員、どうぞ。</p>
中田委員	<p>今、大平町議長から小委員会のことで答弁頂き、財政問題の話がありました。長い間のまちづくりの中の宝であるということでした。</p> <p>我々、合併したいということで決議していています。財政問題については、大平町で新庁舎を作るということで4億7千万円の財源があるということですが、もったいないという話も聞きます。しかし、将来をどうするかということで考えると、その程度は微々たるものかとも思いますが。</p> <p>そのあたりの委員の話を、再度聞かせて頂ければと思います。</p>
鈴木会長	<p>恐縮ですが、これについては答弁は不要であると考えます。先ほどからお願ひしていますが、質問にして頂きたいということを強く要請します。</p> <p>他の方の質問とさせていただきます。</p> <p>佐山委員、どうぞ。</p>
佐山（晃）委員	<p>ただ今の中田委員と同じような話になりますが、検討委員会は8回も重ね、大変な様子も聞いております。我々は検討委員会に任せてきたわけですが、その結果、新庁舎の場所が両論併記ということになり、建設場所については一本化することができなかったということが重要な問題です。</p> <p>どういう理由で一本化することができなかったかを聞きたいと思います。</p>
鈴木会長	<p>同じようなご質問かとは思いますが、あまりさえぎるのも失礼かとは思いますので。</p> <p>これは、大平に限らないと思いますので、どなたか検討委員会にご出席の方で、なぜ第1次と第2次で両論併記という形そのものが変わらなかったのか、ご発言頂けるようでしたらお願いします。</p> <p>片柳委員、どうぞ。</p>
片柳委員	<p>私なりの考え方でご説明いたします。</p> <p>第1次選定委員会が4回ありました。その後1名の増員を経て、第2次選定委員会が4回ありました。これら計8回を通して、まったく変わりませんでした。第2次では、各町から新しく選出された1名の議員さん方が中心になって発言されていましたが、第1次と大体同じ方向での話し合いでした。先ほどのご質問にもありましたが、総合的に考えたとき、大平町では人口、財政力、建設予定地等があります。住民の利便性という話は両町も盛んに申されていましたが、その点は大平町でも考えました。その辺の人口比率の問題でも、いろいろと議論がありました。</p> <p>要するに1回から8回まで3町の意見が対立して動かないということで、各町からご意見を伺い充分検討した後で打ち切ったという経緯です。恐らく3</p>

<p>鈴木会長 渡辺委員</p>	<p>町とも、結果については選定委員あるいは協議会委員の中で議論されていると思います。ここで改めて質問や再議論をするのはナンセンスだと考えます。充分各町でなさっていると思いますので、そういうことで判断して頂ければと思います。</p> <p>渡辺委員、どうぞ。</p> <p>ただ今、選定委員会副委員長である片柳委員からご発言がありましたが、全8回の検討委員会がまったく同じスタンスだったというのは違うと思います。</p>
<p>鈴木会長 永島委員</p>	<p>第1次の4回では、大平は新しく取得した場所、藤岡は国道50号バイパス辺り、岩舟は人口や交通アクセスを考えた上での3町の真ん中という意見だったと思います。第2次でもそのような話はありませんでしたが、その報告にもありますように、岩舟は、小委員会で結論が出なかったことも踏まえて、新市発足後に新市長と新議会の中で様々な方法を探りながら決めてもいいのではないかと内容を変え、譲歩しました。藤岡も同様の意見だったと思います。</p> <p>従って、第1次と第2次とでは決定的に違います。岩舟は合併しやすいようにということで、譲歩いたしました。先ほどの中田委員の質問の主旨も、本来はそういうことだったのかと思います。私は、小委員会の中では変化があったという認識を持っています。</p> <p>以上です。</p>
<p>鈴木会長 永島委員</p>	<p>永島委員、どうぞ。</p> <p>ただ今の渡辺委員のご発言にもありましたように、藤岡は50号沿線を強く主張してきました。しかし、このような状態では合併問題が前に進まないという認識に立ち、庁舎の位置については新市発足後に検討すべしとしました。こういう例は、全国的にもたくさんあります。大平町の提案場所をすべて否定するわけではないですが、合併後の新市になった際に、最も多くの市民が納得できる場所をとということで、大変譲歩しながら提案してきているわけです。</p> <p>将来の市民のことを考えた場合、大平町がもう少し柔軟な考え方で譲歩すべきではなかったのかと考えます。</p>
<p>鈴木会長</p>	<p>最後の点のご意見ですので、後にして頂けたらと思います。</p> <p>他にございますか。</p> <p>鈴木委員、どうぞ。</p>
<p>鈴木委員</p>	<p>先ほど中田委員から、大平に本庁を持っていき、藤岡・岩舟は譲歩したのではないかと、という発言がありましたので、これについて申し上げます。</p> <p>1. 合併時の事務所の位置についてです。我々、本庁を大平町にということは、</p>

まったく考えていませんでした。これは、永島委員からの確認の際に私が答えていることですが、本庁については藤岡でも岩舟でも構いませんと申し上げました。皆さんの言われる、他が譲歩したので大平町に本庁が来たということはまったく考えていません。基本的には大平町に2万9千の人口があるので本庁が来たわけですが、あくまでも仮の本庁です。

次に、建設場所についてです。大平町がなぜここにこだわるのかということ、合併の本質は行財政の効率化にあり、それが最も大きな課題だからです。それに基づき、住民からの多様化している行政ニーズにいかに応えられるかということです。専門技術者等の確保の問題もあります。建設場所については、我々当該場所に1万8千㎡の土地を用意しているので、新たな建物を作る場合には土地の心配がまったくありません。現実的に言いますと、280億の特例債が設けられていて、このうち7割が地方交付税として返ってくるとなっていますが、私は現実的には返ってこないと思います。皆さんご存知のように、地方交付税というのはお金が足りない場合に返ってくるものであって、現実的には5割程度しか返ってこないと考えます。そういうこともあって、土地を用意してある所に立てれば、特例債を使わなくても済むんです。これから2030年までに3町の人口が5万5千人となりますし、高齢化率も33%になります。国民健康保険や介護保険の費用がどんどんかかってくるわけです。そういう点も考え、大平町に立てたらどうですかと申し上げたわけです。また、大平町は従来から中心市街地活性化事業を立ち上げています。この事業の拠点の一つとして、役場を位置付けています。そういう意味で、ぜひ大平町にと一貫してお願いしてきたわけです。

大平町が譲らないと言われていますが、これ以外に諸々の問題を抱えています。このような調子だと極めて厳しいです。ですから、我々としては市の役場は大平町の既得土地に作って頂きたいと、一貫してお願いしてきたつもりです。

鈴木会長

ただ今のお答えも大半は意見ですので、もし、この発言に対する質問であれば、ご遠慮頂きたいと思います。違う質問についてお願いします。

皆さんにお願いですが、意見をお話して頂く機会は必ず設けますので、失礼かとは思いますが、議員の皆様には少しご遠慮頂きたいと思います。まずは不明な点についての質問に限って頂きたいことを、強くお願いいたします。もし、その意味で質問がないというのであれば、次に移りたいと思います。特に検討委員会委員以外の皆さん、あるいは議員以外の皆さんでご質問がなければ、意見表明の段階に入りたいと思いますが。

ご質問等は、よろしいですか。

町田委員、どうぞ。

町田委員	今まで皆さんのお話を伺ってきましたが、大平としては、今後時間を置けば藤岡・岩舟の考え方にいくらかでも近づいてよいという考え方はないのか、その点は微動たりともしないのでしょうか。
鈴木会長	それも、意見あるいは今後の方向性を検討するときに再度議論をしてください。 これ以外にご質問はよろしいですか。
三柴委員	三柴委員、どうぞ。 先日、委員長が調停案を出したと聞いております。私もいろいろ勉強してまいりました。 これまで住民の発議で、新市の選定委員 10 名を選んできました。それほど、私達は合併協議に対して一生懸命やってきたわけです。私も住民の一人として、できれば各委員に再考して頂ければと考えています。 私も大平町の委員ですから、場所の選定については市街地活性化のこともあり、皆さんの意見に同調してきました。しかし今後検討していかなければならない最大の点は、住民に不便をかけないということです。そこに力点を置いてほしいと思います。その中で、庁舎の位置も再考して頂けるとありがたいです。主体性は住民にありますから、その点を再認識して協議してもらいたいと思います。
鈴木会長	大変失礼ですが、ただ今のご意見ということになります。ただ冒頭、委員長から調停案が示されたと同ったという発言がございましたので、それが事実かどうかの質問ということによろしいですか。 では、検討委員会の委員長にお答え頂きます。
山中委員長	三柴委員からのご質問ですが、正式にはそのような話は聞いていません。
鈴木会長	検討委員会の委員長としての再提案なり調整案を示したという事実はないそうです。 他にご質問はよろしいですか。 それでは、質問についてはないようですので、次に移りたいと思います。 まだ 1 時間も経っていませんが、少し区切りますか。 ただいまから、10 分間の休憩といたします。会場の時計が 2 時 50 分ですので、3 時まで休憩とさせていただきます。
鈴木会長	休憩前に遡りまして、協議会を再開いたします。 続きまして、ただ今の質問というか意見が大半であったようにも思いますが、改めて議論を戻したいと思います。 今後の事務所の位置の協定項目について、どうすべきかも含めてご意見あるいはご質問をお願いし、これより討論としたいと思います。 先ほども申しましたが、議員以外の学識経験者の方からほとんどご発言がな

<p>三柴委員</p>	<p>いようです。それぞれの町からの代表ということでお見えだと思しますので、ぜひともご意見の表明をお願いいたします。</p> <p>三柴委員、どうぞ。</p> <p>質問です。</p> <p>各町が現在置かれている財政状況があると思いますが、10年後までに各町単独で行っていった場合の財政シミュレーションについて、聞かせて頂けたらと思います。</p>
<p>鈴木会長</p>	<p>合併しない場合の、3町の財政シミュレーションをお聞かせ願いたいということです。まず、そのようなシミュレーションをやってあるのかも含めて、お願いします。</p> <p>各町の担当者は来てますか。</p> <p>事務局長、どうぞ。</p>
<p>事務局長 鈴木会長</p>	<p>合併協議会の事務局では、そうしたシミュレーションは行ってません。</p> <p>大平町企画財政課長、どうぞ。</p>
<p>説明員（大平町企画財政課長）</p>	<p>大平町企画財政課長の堀江です。</p> <p>単独でいった場合のシミュレーションは、県で示されたものに則って計算してあります。現在、積立金が総額24億円程度ありますが、今後10年くらいはそれらを使いながら充分やっていけるというシミュレーションができています。</p>
<p>鈴木会長 説明員（岩舟町企画課長）</p>	<p>続いて、岩舟町企画課長、どうぞ。</p> <p>岩舟町企画課長です。</p> <p>14年度レベルで、県から示された案に基づいた概要はできています。ただし現行の中で事業を推進した場合、5年ないし7年のスパンでは非常に厳しい情勢になることは事実です。本日は数字は持ってきておりませんので示せませんことを、ご理解頂きたいと思います。</p> <p>以上です。</p>
<p>鈴木会長 説明員（藤岡町企画財政課長）</p>	<p>藤岡町、お願いします。</p> <p>藤岡町企画財政課長の桜井です。</p> <p>各町の財政シミュレーションですが、本町の14年度末の財政状況は、何回目かの議案書で示したとおりです。今後10年予測となると大変厳しい状況になるとは思いますが、公共施設の見直し等スリム化の考え方を踏襲していけば10年はいけるのではないかと、財政担当としては考えますが。</p>
<p>鈴木会長</p>	<p>以上のようなことでございます。</p> <p>他にございますか。</p> <p>高岩委員、どうぞ。</p>
<p>高岩委員</p>	<p>先ほどから位置問題について、岩舟・藤岡さんが譲ったと言われてますが、</p>

鈴木会長	<p>私としましては、何を譲って頂いたのかとの疑問を持っています。</p> <p>庁舎位置問題に関しては、協議会中で、基本4項目をきちんとした上で先に進むという協議をしたと記憶していますし、この4項目が決まらなければ協議会は進まないと認識しています。新市誕生後に住民の利便性を考えて位置を決めるとするのは難問の先送りです、決して大平町に譲ったことにはならないと考えます。</p>
鈴木会長	<p>その他にございませんか。</p>
渡辺委員	<p>渡辺委員、どうぞ。</p> <p>会長から、議員はなるべく発言を差し控えるようにとありましたので控えていましたが、大平の委員さんより何を譲ったのかというご発言があり、その点については先ほど私が発言したものですので、意見を述べさせていただきます。</p>
鈴木会長	<p>小委員会からの報告書にあるとおり、第1次の小委員会では3町ともやや特定できる場所を挙げているわけです。しかし、第2次の小委員会では、岩舟も藤岡もこの場所だということは言ってません。合併後に手順を踏んで決めるとのことですので、ここだとは特定してません。大平・岩舟・藤岡のどこの地内が含まれるのかはわからないわけです。これは、第1次と第2次の小委員会の協議内容を比較すれば明らかです。</p>
鈴木会長	<p>他にいかがですか。</p>
天海委員	<p>天海委員、どうぞ。</p> <p>8回も協議を重ねながら、私達が見る限りは、ほとんど歩み寄りがなかったように思えます。今、歩み寄りがあったかなかったかで議論をされているわけですが、この溝を埋めていくのは大変なことだろうと思います。また財政の話なども出まして、言わば人の懐に手を突っ込んでいるような状態になっていますので、これ以上議論をすると、互いに傷つけ合う気がします。これまで、いろんなことで大岩藤は仲良くやってきましたが、この合併問題については意見の一致を見るのが難しい段階にまで来ているように感じます。新庁舎の位置について、今後論議を繰り返しても歩み寄り難しく、何度議論しても同じという感じを受けます。この辺で質疑を打ち切り、今までの話はなかったことにしたほうがよいのではと思っています。</p>
鈴木会長	<p>今後の当協議会のあり方についてのご意見かと思えます。</p> <p>こうした主旨のご意見についても、ここでぜひお聞かせください。どこが譲歩したとかしないとか、失礼ですが言わば犯人論に終始している気がしてなりません。それはそれで結構ですが、それではどうするのかという意見もお聞かせください。</p> <p>よろしく願いいたします。</p>

田村（孝） 委員	<p>田村委員、どうぞ。</p> <p>ただ今の天海委員のお話に対して拍手もございましたが、それに反論いたします。</p> <p>今までの話、すなわち合併はなかったことにしたほうがいいのではないかと、ということでしたが、「みかも市」という市名も発表になり、これから贈呈式も行われます。ここまで進めば住民の皆さんは合併すると思っていますし、合併の気運も高まってきています。そんな中でこのようなことになるのは、とても残念です。もっと歩み寄れる方法があるように思いますので、その辺のところを皆様の知恵を絞って検討して頂きたいと思います。</p>
鈴木会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p>
阿部委員	<p>阿部委員、どうぞ。</p> <p>私は、新市の事務所の位置選定検討委員会の初回から仰せつかって、進めてきた一人であります。</p> <p>過去8回の検討委員会での話の中身を考えてみましたところ、合併に対する認識の差というものがかなり出ていると思います。大平・岩舟・藤岡、それぞれ認識の差があり、これが非常に残念な点です。</p> <p>広域事業を伝統的に進めてきた大岩藤がさらに発展することを期待して協議に臨んできたわけですが、今となっては、そもそもの合併の枠組みがおかしかったのではないかと強く感じます。大平町議員の方々においては、合併に対する認識の差がありありと出ているように思います。考え方を変えないと調整は難しいと思いますし、なんとか合併を実現しようという本来の認識が薄らいでいるのではないのでしょうか。</p> <p>私としては今後冷却期間を置き、合併のことをもっと真剣に考えて頂きたいと強く要望します。</p>
鈴木会長	<p>他にいかがですか。</p> <p>ただ今の阿部委員のご発言にもありましたが、合併の枠組みに関しては、当初の発端ともなったのが、藤岡町からの住民発議でした。その発議者のお一人である葛生さんが委員ですので、その点も含めてご発言頂けますか。</p>
葛生委員	<p>私は、そもそもは住民発議者でしたが、ここでは委員であるということで、その点は控えていました。</p> <p>住民発議の目的は住民主体です。しかしこの委員会では、住民の意見が見えてこない部分があります。3町ともに言えることですが、今までの皆さんの意見が住民の望んでいるものなのかどうか、疑問視しています。</p> <p>先般、小学校からも合併に関して電話等で質問がありました。住民においては、ここまで合併の気運が高まっているんですね。10年20年先までここに</p>

<p>鈴木会長</p>	<p>住む小学生たちが、合併してよいまちにしてくださいと言っているんです。我々の立場よりも、先々までこのまちに住んでいく人達の意見も取り入れ、もっと歩み寄ってもいいのではないかと思います。</p> <p>その他にいかがですか。</p> <p>松本委員、どうぞ。</p>
<p>松本（房） 委員</p>	<p>私は、大平町の女性代表で来ています。</p> <p>最初から、合併する目的でここに来ています。皆さん、この合併に大変関心を持っていて、いつもこの会議が終わった後には、女団連の会合等でこの会議の様子を報告しているんです。また旅行のときなどでも、合併について勉強したいと、町長のお話を聞いたりしています。私達女性も住民の皆さんも、合併についてはどうなっているのかという様子でいます。</p> <p>私も常に、住民の意見がどう報告されているかということに関心を持って聞いています。目的は合併ですし、女性の方々も皆さん興味を持っています。これからどうなるのかと思っていますし、皆さんの考えがわからなくなってきました。私たち女性としては、以上のような考えでいます。</p>
<p>鈴木会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>島田委員、どうぞ。</p>
<p>島田（富） 委員</p>	<p>検討委員の方は控えてとありましたが、意見として言わせて頂きます。私も民間からという形で、事務所の位置選定検討委員会には初回から顔を出させて頂きました。</p> <p>大岩藤の各委員さん方が背負っているゼッケンが非常にギラギラしてしまっていて、最初から最後までそのギラギラが消えなかったという印象です。我々民間の委員からすると、どうしてわからないんだろうなあとということが公然と戦われていた感じです。そのギラギラしたゼッケンを全部一色にしたらということで、新市発足後という案が出たのではないのでしょうか。先ほどの発言にもありましたが、もう少し色の付いていない人、本当に冷静に考えられる方々の意見を伺える検討委員会的なものが持てないかと感じました。何かいい案があればと思います。</p>
<p>鈴木会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>ただ今は、これからの議論の進め方についてのご提言かと思います。</p> <p>他にございますか。</p> <p>島田委員、どうぞ。</p>
<p>島田（家） 委員</p>	<p>皆さんのお話を聞けば聞くほどますます難しくなってきました。自分の置かれている立場でどの程度協力できるか不安でたまりません。町民は誰もが、合併というのは必ず成功するものと期待しています。そうした多くの町民の声を吸い上げてこの委員会に持ち込み、よい形で合併できる方法を考え</p>

<p>鈴木会長 三柴委員</p>	<p>たらどうでしょうか。 小委員会の皆さんには大変お骨折りを頂きながらも、結論が出ていません。今日もこのような形で、皆さんの意見が飛び交っています。どこにどういう意見を導入すればこの問題が解決するのが見えてきません。良い方法をお聞かせ頂けたらと思います。 三柴委員、どうぞ。 「新市の名称」アイデア賞の当選者が大平町6名ですが、私は大平町委員として、歴史上ゆかりのある「しもつけ市」という名前を推しました。 ここで皆さんに再考を求めたいのですが、大平町からも新市の名称を「みかも市」とした方が6名も当選されました。これまで私達は協議会委員の立場で発言していましたが、再度住民参加型の合併であることを認識したいと思えます。6名の一般町民が「みかも市」に応募した意味を、再度考え直す必要があるのではないのでしょうか。また当選者に藤岡町が出ていないのも、考え直す必要があると思えます。 以上です。</p>
<p>鈴木会長 小幡委員</p>	<p>ただ今の点は名称の問題が中心かと思いますが、そのようなこととして、お聞きいたします。 小幡委員、どうぞ。 私は、小委員会の委員として全会議に参加してきました。とにかく随分議論をしましたが、これ以上歩み寄ったとしても、別の結論が出るとは思えません。2ラウンドやりましたが、答えは同じです。タイムリミットも来ましたし、新市の名称が決まったからといって、相変わらず難しい問題をずるずると先送りにしても仕方ありません。不遜な言い方ですが、止めたほうが良いように思います。</p>
<p>鈴木会長 中山委員</p>	<p>中山委員、どうぞ。 中山です。 先ほどからの話を伺っていると、当合併協議会の存続危機に直面していると感じます。 議員の皆さんは各町の町民を代表して出ておられるので、我々学識経験者よりも、責任感の面では強いと思います。しかし小委員会や本協議会の現状を見たところ、なかなか前に進まない状況だということが、はっきりわかりました。これを踏まえた上で言いますが、合併存続危機に関して我々だけで決めていいのかということです。10年20年後、これが我々の過ちとなるか正解となるかはわかりませんが、いずれにしても我々だけで決めるのは大変なことではないかと思えます。 従って、ここは住民投票による合併協議会存続の是非を提案したいと思いま</p>

鈴木会長	<p>す。</p> <p>住民の意向を聞くべきであるということだと思います。</p> <p>他にいかがですか。</p> <p>鈴木委員、どうぞ。</p>
鈴木委員	<p>我々大平町は、役場の位置については一貫して当該場所にこだわっています。実際、今後の協議事項で、さらに大きなヤマが出てきます。それらも踏まえながら、このように判断しているんです。</p> <p>本来、合併というのは先にデメリットを出し合い、その上で総体的にメリットがあるから合併するということですが、今回そういうフレームがまったくなかったんですね。一つひとつやっていっているの、次にどういう心配が出てくるのかという状態を招いています。先月の都市計画税も、最終的には繰り返し述べです。新市をスタートするなら最初から同率でいくべきですが、その調整にも非常に苦労しています。そうした諸々も含めて、大平町に金をかけないで庁舎を作り、将来の子孫に負担をかけないでいきたいという思いがあります。</p> <p>初めにそのようなフレームがあれば、皆さんにもわかりやすかったのかと思います。</p>
鈴木会長	<p>他のことも踏まえて検討すべきだろうというご意見だと思います。</p> <p>他にございますか。</p> <p>それでは冒頭に申し上げたとおり、今後進んでいくべき道をどうするかを、ただ今のご意見の中で大まかにまとめさせていただきます。</p> <p>岩舟の島田委員からは、もう少し冷静に話し合いのできる民間からの委員を中心とした委員会を再度構成し、議論すべきではないかというご意見でした。また、中山委員からは、住民の意見を聞いて決めるべきではないかというご意見でした。あるいは失礼ながら、こうすべきであるというところまでのご意見ではなかったかと思いますが、3町すべての町民が関心を持ち、ゆくえんについて心配をしているのだから、そのあたりを踏まえて議論をすべきだというご意見、これらに集約できると思います。</p> <p>このうち島田委員より出ました、再度別構成による委員会的なものを組織し、議論を継続したらどうかというご意見ですが、これについてご意見等ありましたら伺います。</p> <p>いかがでしょうか。</p> <p>永島委員、どうぞ。</p>
永島委員	<p>先ほど、議会側の関係に対して、批判ともいえるような厳しいご指摘がございました。住民を主体とした合併及び合併協議会であってほしいということだと思います。</p>

	<p>ただいま会長からもありましたが、今後の研究の中で、民間委員会や住民の意見を収集するアンケート的なもの等を早急に立ち上げる必要があると思います。本庁方式でいく場合の位置問題が一本化できない、すなわち二論あるわけですから、それらについて充分検討する機会を設けることが最も大事だと思います。</p>
鈴木会長	<p>他にいかがでしょうか。</p> <p>ただいまの永島委員のご意見ですが、中山委員の言われた住民の意見を聞くべきだというご意見につながるものと思われます。</p> <p>渡辺委員、どうぞ。</p>
渡辺委員	<p>いろいろ意見が出たわけですが、合併協議会そのものの存続に関わる意見もございました。</p> <p>しかし、各町が予算を取って職員を派遣し、県と国から補助を受けて、これだけの組織を議決して立ち上げたわけですから、安易に終わりにしたのは、町民に説明が付きません。時間的な制約もあるかとは思いますが、ぎりぎりまで努力する方法を取らないと、町民に対して無責任な委員会であったという結果になると思います。永島委員や島田委員からも、住民の意見や主体性を考えるべきではないかというご発言がありました。これらも踏まえ、安易に協議会を終わりにするわけにはいかないことを、ご検討頂きたいと思えます。</p> <p>以上です。</p>
鈴木会長	<p>他にいかがですか。</p> <p>それでは、我々正副会長も協議をしたいので、恐縮ですが、暫時休憩にさせて頂きたいと思えます。それほど時間は必要ないと思えますので、会場の時計で50分まで休憩とさせて頂きます。</p> <p>よろしく願いします。</p>
鈴木会長	<p>50分までと申し上げておきながら、遅れまして大変申し訳ありません。言った本人が約束を守らないのが一番悪いことですので、お詫び申し上げます。</p> <p>それでは、休憩前に遡りまして協議会を再開いたします。</p> <p>この休憩時間を利用して我々正副会長で協議をし、最終的には3町の議長さんのご意見も伺いましたので、時間を取りました。その結果をご報告するとともに、ぜひ皆様にはその方向でご協力頂きたいと思えます。</p> <p>我々の考え方ですが、先ほどからご意見が出ていますとおり、もしこの協議会が終了するにしてもこのままということではなく、協議会を始める際にも住民の皆さんのご意見を聞きましたので、再度住民のご意見を聞こうということです。聞き方については、3町それぞれ事情があると思えますし、聞き</p>

	<p>方も変わってくると思います。また、合併協議会事務局がアンケートを取るのも筋が違ふと思われまふ。と申しますのも、ここまで来れば住民の皆さんには、合併の是非も含めたご意見を聞かざるを得ないわけです。しかし、合併協議会事務局は合併することを目標として置かれた組織ですので、そこが合併の有無を聞くというもおかしな話です。そこで、住民の皆さんへの意見の聞き方も3町にお任せすることにしたいと思ひます。</p> <p>これをいつまでに実施するかということですが、ここまでいろんな意味でのタイムリミットが迫ってきていますので、時間を置いてもそれほど変わらないだろうと考へます。次回の協議会が3月29日に予定されています。このときまでに各町で住民の皆さんの意見を何らかの方法で聞いて頂き、その結果を持ち寄って、それを前提に皆さんと再度検討し、そこで結論を出したいと考へています。こじつけかもしれませんが、年度の最終月でもありますし、いろんな意味で3月29日までに住民の皆さんの意見をお聞き頂きたいと思ひます。</p> <p>またこの間、我々正副会長としても議員の皆さんとの間や我々3者間においても話し合いをしていきたいと考へますが、これについても本日申し上げることは差し控えさせて頂きます。次回に、住民の皆さんの意見を踏まえた中での我々としての考へ方を表明させて頂きたいと思っております。休憩時間中にこのような相談がまとまりましたので、ご報告とともに、その方向でご理解頂きたいと思ひます。</p> <p>このことについてご意見ございましたらお伺ひします。</p> <p>島田委員、どうぞ。</p>
島田（富）委員	<p>会長さんのご提案はわかりました。</p> <p>ただ、本日、我々が8回の検討を積み重ねた新市の事務所の位置選定検討委員会結果報告書を出しています。これがすべて駄目だというのではなく、1. 合併時の事務所の位置についての(1)、(2)～2. 新庁舎についての(1)までは、どなたも異論のないところだと思ひます。そこまでは議決できるのかどうかを伺ひたいと思ひます。</p>
鈴木会長	<p>新市の事務所の位置の検討はあくまで全体としての検討だと思ひますので、一部を除いた部分のみの採決というのはいかがなものかと思ひます。また、住民の皆さんの意見をお聞きするときに、事務所の建設場所についてだけ伺うというわけにはいかないと思うんですね。</p> <p>これは会長という立場より大平町長という立場での意見になりますが、大平町民に対しては、他の2町も同様かと思ひますが、住民の皆さんの負担がどうなるのかということもある程度具体的にお話しした上で意見を聞かざるを得なくなると思ひます。それをあえてオブラートに包んで先にいってしまう</p>

	<p>のは、ここまで来ればお互いにすべきではないと考えます。そうすると、それぞれで住民の皆さんへの聞き方が若干変わってくるだろうと思いますので、各町においてはすべてを含めて住民のご意見をお聞きしてきて頂きたいと思います。その際には、各委員の皆さんはぜひとも、それぞれの置かれた組織・地域・お付き合いの中で、多くの住民のご意見をお聞き取り頂き、次回にご参集頂きたいと思います。</p> <p>よろしく願いいたします。</p> <p>他はよろしいでしょうか。</p> <p>片柳委員、どうぞ。</p>
片柳委員	<p>ただいま、3町の事情がそれぞれあると話されていましたが、住民のご意見を聞くとなると、重要な部分は統一しておく必要があると感じます。先ほどの財政シミュレーションも概算での説明がありましたが、住民の皆さんはもう少し正確なものを知る権利があると思います。その上で判断していかないと駄目ではないでしょうか。住民の皆さんに対するメリット・デメリットや、大平町に建てた場合と50号線沿線に建てた場合とでは、どれだけ建設やまちづくりに費用がかかるのか、たとえ概算であっても統一すべき見解というのがあると思います。</p> <p>そういう点は統一し、その他は各町の事情に合わせてお聞きすればいいと思うのですが、いかがでしょうか。</p>
鈴木会長	<p>先ほど岩舟の議員さん方中心に強く言われていたように、50号線沿線という話は現時点ではないわけです。また、その点について各町の意見がこれだけ違ってきますから、統一するのは難しいのではないかと思います。合併がすぐそこまで来ているとか、あるいは合併した後であれば、統一も当然かとは思いますが、しかし、現時点では3町がそれぞれ別の歩みをしている中での協議ですし、そこまで統一するのはどうかということで我々先ほど議論してきたところです。</p> <p>このことについて皆さんからご意見あれば伺いたいところですが、我々としては、お任せするしかないのではないかと考えています。</p> <p>永島委員、どうぞ。</p>
永島委員	<p>先ほど会長から、3者協議の結果報告がございました。それに基づき、住民の声を真摯に受け止め、3月29日に各町から発表し議論していくというやり方のお話がありました。片柳委員の言われた形ですと、あとあと問題を残すと思いますので、避けたほうがいいと思います。</p>
鈴木会長	<p>他にございますか。</p> <p>松本委員、どうぞ。</p>
松本（喜）	<p>大平の松本です。</p>

委員	<p>3月29日までに、3町でそれぞれ住民の皆さんのご意見をお聞きするという ことで、非常に大事なことになるかと思えます。</p> <p>そこでお尋ねしますが、大平・岩舟・藤岡の各町長さんが、自ら出席し、今 までの経過を住民の皆さんに説明しながら、皆さんの生の声を聞くという形 をとるのか、何らかの方法でということですので、どのようにするのか聞か せて頂けたらと思えます。</p>
鈴木会長	<p>協議の結果、私が代表してお答えします。</p> <p>期間的には1ヶ月ちょっとですので、限られた期間の中で、住民の皆さんの 意見をお聞きしなければなりません。また、我々首長あるいは議会の皆さん の意見も含めて、直に住民の皆さんと膝を交えて話をするということからい っても、ここは我々が地域に出向いて懇談会形式で地域住民の皆さんの声を 聞いてくるということはどうだろうという意見が、我々3人の間で先ほどま とまったところです。</p> <p>従って、アンケートは期間的にも無理ですし、あえてここで数を競うのもど うかと思えますので、以上のような方法で考えています。</p>
松本（喜） 委員	<p>私は、アンケートでは住民の声が甚だ聞けないと思って申し上げた次第で す。各町長には3月議会も控えた中、短期間で住民の皆さんの声を聞くのは 大変かと思えます。しかし、合併協議会及び各小委員会をここまで重ねてき た経過を、各首長が5、6箇所にも絞って出向くという形でやって頂けれ ばよいと思いました。</p> <p>アンケートでなければ結構です。</p> <p>よろしく願います。</p>
鈴木会長	<p>わかりました。</p> <p>これは我々からのお願いですが、今言われたとおり、3月議会も控えた上で 我々地域に出向くというスケジュールですので、議会における予算の審議 等につきましては、なにとぞ特段のご配慮を頂きたく、3町を代表してお願 い申し上げます。</p> <p>他によろしいでしょうか。</p> <p>このようなときに不謹慎なことを申し上げ、申し訳ありません。</p> <p>この1ヶ月間を最大限利用させて頂き、どういう方向になっていくかはとも かく、最後の最後まで住民の皆さんの意見をお聞きしながら努力していきたい と思えます。</p> <p>先ほどどなたかも言われていましたが、いずれにしても我々3町は隣り合っ ているのは変わりませんので、どういう方向でいくにしても、できるだけ円 満な形で結論を出していきたいと考えます。皆様のご理解ご協力をお願い したいと思います。</p>

事務局長	<p>それでは、この他議題もたくさんありますが、時間も時間ですので、今日の質疑は打ち切らせて頂きます。</p> <p>長時間のご協力をありがとうございました。</p> <p>お知らせいたします。</p> <p>次回は3月29日(月)藤岡町文化会館にて午後2時からとなります。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p>
------	--